

# たかやま労基署だより(R3.02)

## 高山労働基準監督署

令和2年の労働災害発生状況について(12月末現在)

### 主要産業の死傷者数

注1) カッコ内は死亡者数  
注2) 死傷者数は休業4日以上のもの

	令和2年		平成31 (令和元) 年		平成30年 (参考)		対前年比 増減数		対前年比 死傷者数 増減率
全産業	124	(2)	153		175	(4)	-29	(2)	-19.0%
製造業	30		38		43	(1)	-8		-21.1%
建設業	24	(1)	29		33	(1)	-5	(1)	-17.2%
運送業	7		10		12		-3		-30.0%
林業	8	(1)	13		28		-5	(1)	-38.5%
小売業	10		15		11	(1)	-5		-33.3%
社福祉	6		10		9		-4		-40.0%
旅館業	9		12		12		-3		-25.0%
その他	30		26		27	(1)	4		15.4%

### 36協定届(時間外・休日労働に関する協定届)の様式が新しくなります

令和3年4月1日以降に36協定届を届け出る場合は、新様式による届出を行って頂きますようお願いいたします。

旧様式からの変更点は以下のとおりです。

#### 押印・署名の廃止

- 労働基準監督署に届け出る36協定届について、使用者の押印及び署名が不要になります(記名は必要です)。

#### チェックボックスの新設

- 労働者代表(事業場における過半数労働組合又は過半数代表者)についてのチェックボックスが新設されます。

## 令和2年度 STOP!冬季労働災害プロジェクト

### 1 安全衛生活動の活性化

- 経営トップによる各種対策の積極的な取組
- 冬季特有の要因を踏まえたリスクの見積り(リスクアセスメント)、ハザードマップ等の作成による危険の見える化
- 作業開始前のKY(危険予知)活動、災害事例を取り入れた安全衛生教育の実施
- 安全衛生管理体制の整備、安全担当責任者の選任、責任者による災害防止活動の管理
- 気象情報の事前把握による作業スケジュール計画、悪天候時の作業中止基準の策定
- 寒冷な作業環境下での長時間労働の削減、屋外作業時の日照時間を考慮した作業スケジュールの設定
- 冬季用の靴の使用、雪道の歩き方、自動車の冬道運転等の安全教育の実施



### 36協定の起算日は確実ですか?

36協定は、時間外・休日労働の上限を労使で定め、使用者はこれを遵守する必要があることから、月ごとの時間外・休日労働時間を計算・把握し、協定時間を超えないように管理するためには、基準日は賃金締切日の翌日であることが都合がよいと思われます。

例えば、賃金締切日が毎月20日の事業場において、36協定の起算日を1日にしている場合は、賃金計算のための時間外労働時間数等の把握と、36協定遵守のための時間外労働時間数等の把握をそれぞれ行う必要があり、事務作業が煩雑になります。

36協定を確実に運用するために、協定の有効期間及び起算日は、賃金締切日の翌日が都合がよいものです。

労働保険番号・法人番号を記載してください。	
協定の有効期間	
000)	0000年4月1日から1年間
時間数	1年(①については360時間まで、②については320時間まで)
時間まで)	起算日(年月日) 0000年4月1日
時間数(任意)	法定労働時間を超える時間数
時間	所定労働時間を超える時間数(任意)
時間	250時間
時間	150時間
時間	150時間
時間	200時間
時間	370時間
時間	270時間
時間	270時間
時間	320時間

この協定が有効となる期間を定めてください。1年間とすることが望ましいです。

1年間の上限時間を計算する際の起算日を記載してください。その1年間においては協定の有効期間にかかわらず、起算日は同一の日である必要があります。